

## 鹿島愛彦先生追悼特集

The Caving Journal, No. 56: p. 7-15, April 2016

CJ 編集部

## 鹿島愛彦先生を悼む

染谷孝 (SOMEYA, Takashi 日本洞窟学会会長 佐賀県在住)



鹿島愛彦先生

日本洞窟学会の元会長である鹿島愛彦愛媛大学名誉教授が、2015年8月3日逝去されました。享年81歳でした。心からご冥福をお祈りいたします。

鹿島先生は愛媛県にお生まれになり、愛媛大学教育学部を卒業され、後に母校の理学部助教授、教養部教授、農学部教授とられました。この間、日本ケイビング協会の幹事(1972～1975)を務められ、その後、同協会が本会に発展的に合併した後は、本会評議員を1986～1993年度の4期、会長を94～97年度の2期、歴任されました。ご退官後は岩手県岩泉町にある日本洞穴学研究所の所長として、洞窟学研究と調査、普及にご尽力されました。同時に、2002～2013年度の12年間6期、評議員を務められました。このように、評議員と会長職合わせて12期24年もの長きに渡り、本会へ多大の貢献をなさいました。

また洞窟学に関する多くの学術論文を発表されるとともに、洞窟学や洞窟探検に関する平易な書籍も執筆され、普及啓発に大きくご尽力されました。その一部を紹介すると、地底探検〈学研ワールド科学館〉(単著:1977)、洞窟学入門 暗黒の地下世界をさぐる〈ブルーバックス〉(共著:1978)、現代地球科学入門(共著:1992)、洞窟科学入門(共著:2006)などです。

このように鹿島愛彦先生には、我が国の洞窟学と日本洞窟学会の発展に多大のご貢献を賜りました。先生のご薫陶を受けた者は数えきれません。ここに、本誌に寄せられた諸氏の追悼文を掲載するとともに、先生のご遺徳を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

日本洞窟学会会長 染谷 孝

## 略歴

	1969(昭和44)年7月	理学博士(九州大学)取得
	1969(昭和44)年7月	日本ケイビング協会幹事に就任(～1976年)
	CJ 編集部	
	1971(昭和46)年4月	愛媛大学助教授理学部に昇任
1935(昭和10)年2月19日	愛媛県松山市に誕生	1975(昭和50)年
1957(昭和32)年3月	愛媛大学教育学部中等教育学科卒業	1976(昭和51)年7月
1957(昭和32)年4月～	愛媛県東宇和郡野村町立惣川中学校教諭	1977(昭和52)年12月
1959(昭和34)年	日本ケイビング協会に所属(～1995年)	1978(昭和53)年7月
1961(昭和36)年4月～	愛媛県東宇和郡明浜町立俵津中学校教諭	1979(昭和54)年6月
1963(昭和38)年4月～	愛媛県立新居浜西高等学校教諭	1986(昭和61)年
1964(昭和39)年4月	愛媛大学助手文学部に採用	1988(昭和63)年12月
1967(昭和42)年	National Speleological Societyに所属	1989(平成元年)年
1967(昭和42)年10月	日本洞穴学研究所に所属、顧問に就任	1992(平成4)年
1969(昭和44)年	William Pengelly Cave Studies Trust Ltd. に所属(～1972年)	1994(平成6)年
		American Cave Conservation Associationに所属
		日本洞窟学会会長に就任(～1997年)